

委員会だより

議会運営の先進地視察と 議長諮問に答申 議会運営委員会

先般、議会運営の先進地として、三重県鳥羽市と伊賀市に議会基本条例の順守の推進について行政視察を行いました。傍聴人規則、文書質問、政策討論会、市民と意見交換を行うTOBAMライントークや議会出前トークなどを調査事項としました。議会運営の課題や議会基本条例順守の重要性、市民との意見交換方法や、傍聴人を増やすための施策など、大変参考になる取り組み内容でした。

本年度の議長諮問事項である常任委員会活動の充実強化については、行政側は既に制度化されている横断業務調整組織が取り扱う事業について、議会側も委員会をまたぐ事案の審査ができるよう、連合審査会に対応することに決めました。

また、行政は条例などを制定するときに、パブリックコメント制度により広く市民から意見を求めることができます。しかし、議員や委員会が条例を制定するときに

パブリックコメントを実施する要綱がなかったため、新たに制定し、議長に答申しました。今後は3月をめどに条例以外の政策提案にも適用することを検討し、要綱の精度を上げていく予定です。

(工藤)

※パブリックコメント制度…政策や制度などを決める際、市民に意見を募り、政策決定に反映させる機会を持たせる仕組みのこと。

第11回 議会フォーラムを開催しました



平成29年10月14日に、婦人センター、労働福祉センター、富岸小学校、若草つどいセンターの4会場で開催しました。

今回の議会フォーラムは、前回に引き続き、委員会ごとの重点活動テーマや課題について、グループワーク形式で意見交換しました。

真の市民の声を聴く

総務・教育委員会では、市役所本庁舎の建て替えについて、多くの賛成意見に加え、図書館やほかの公共施設との併設、建設場所は幌別が圧倒的に多く、多機能を求める意見をいただきました。

生活・福祉委員会では、地域包括ケアシステムの構築に向けて、まずは「地域包括ケアシステム」とは何か、ご理解をいただきながら、住み慣れたまちで自分らしい暮らしを続けるために必要だと感じていることについて意見交換しました。

観光・経済委員会では、全市観光を見据えた新たな観光ルートについて、地域の特徴を生かした観光ルート、中でも幌別川や川上公園、ダムや鉱山地区の活用は実現性が高いとの意見でした。

議会だより編集委員会では、市議会の情報公開について、広報やホームページ

における、内容・見た目の満足度や改善点などの意見をいただきました。今回いただいたさまざまな意見を参考に、今後の政策提言につなげてまいります。

(宮武)

総務・教育委員会 中間報告の提言内容 市役所本庁舎の建て替えについて (40ページから)

- (1)新制度の財政措置を活用することを想定し、相当なスピード感を持っての取り組みを要望する。
- (2)新庁舎のコンセプト、基本構想、財源・事業費、完成までのスケジュールなどを早急に策定し提示すること。
- (3)新庁舎の建て替えエリアや新庁舎に求められる機能などについては、幅広い市民が協議する場を確保し、意見を十分に反映させるよう努力すること。
- (4)整備手法や建築工法などについては、専門的知識・技能を有する第三者委員会等を設置し、適切な助言を受けること。

次回定例会のお知らせ

平成30年第1回定例会は、2月22日(木)から開会する予定です。